

2020年4月22日

ベトナム人学生と留学事情

ベトナム人の生活は日増しに豊かになっていますが、それに伴い子供を留学させる家庭がここ数年急増しています。ベトナム人の親は、子供が先進国の教育を受けると将来的に成功のチャンスが与えられると考えるからです。2019年末の時点で、ベトナム人留学生の総数は約20万人と推定されています（約50か国の合計）。留学先の1位は日本（約72,000人）で、2位が韓国（約37,000人）、そして3位は米国（約31,000人）となっています。



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

米国への留学費用の約 8～15 億ドン（約 368 万円～690 万円）に対して、日本はその 1/3～1/5 の約 3 億ドン（約 138 万円）であるのも日本が人気の理由の一つです。なお、政府の奨学金を受けた留学生の割合は全体の約 4%で、その他は自己資金で留学をしています。



留学に関連して外国語の位置づけですが、やはり英語がベトナム人にとって第一外国語と言えるでしょう。日本語などの外国語は小学 3 年以降～高校・大学で習得するのに対して、英語は一般的に幼稚園から教えられています。大都市を中心に IELTS, TOEFL, TOEIC 等の英語認定試験が普及していて、特に IELTS で一定以上のスコアを取得すると、国立高校の入学試験で外国語のテストが免除されたり、一流国立大学に入学する時に優遇される機会に恵まれます。

海外に留学したからと言って、必ずしも将来が約束されるわけではありません。目的意識を持たずに渡

航した留学生の中には、学業に専念できずに途中で挫折し除籍・退学処分になるケースも少なくありません。ベトナム人学生に限りませんが、留学はチャンスですが成功への一つに手段にし過ぎません。

【写真提供 JVRC】

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料は CAM が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に記載されている特定の企業名や商品名等は当資料の理解を深めていただくために紹介したもので、個別の銘柄の推奨を目的とするものではなく、CAM の運用ファンドにその銘柄を組み入れることを保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

以上